

日 程：2026 年 8 月 30 日(日)
場 所：岐阜フットボールセンター
参 加 選 手：岐阜県サッカー協会 3 種チームに所属の U-13/14 の男子選手 (FP:14 名 GP:2 名)

【内容】

■シュートドリル (①ゴール前のシュート ②クロスからのシュート)

様々なボールに対するシュートに挑戦しました。ゴール前の限られた時間とスペースの中でもシュートを決めることができるよう、何度も反復してトレーニングを行いました。

クロスからのシュートでは、動き出しのタイミングに加え、迫力を持ってゴール前へ飛び込むこと、GKにプレッシャーをかけること、こぼれ球を狙うことなど、「ゴールを奪うためのアクション」を学びました。

■GAME (①4vs4+2S+2GK ②5vs5+1F+2GK → 6vs6+2GK)

GAMEでは、ストライカーとして「どこからゴールを狙うのか」「どのタイミングでシュートを打つのか」「GKの逆を取るためにはどうするのか」など、ゴールを奪うための様々な視点を意識しながらプレーしました。また、GKと協働してトレーニングを行うことで、ストライカーだけでなくGK側の視点も共有することができました。

【参加者の感想】

■シュートまでのスピードやテンポ、クロスからの入り方などの指導が具体的でわかりやすく良かった。

■普段の練習とは違う雰囲気、メンバーでやることができ、フォワードに特化した内容で良かったです。また機会があれば参加したいと思いました。

【担当者より】

■国スポでの課題である【決定力】を高めるためにU13/14の選手へ【意外性・変化】というキーワードでトレーニングを行いました。選手に対して相手DFやGKがどんなプレーをされると困るのかという視点で問いかけを行いました。常に相手を意識しながらプレーできる選手を育成していきたい。(国スポ監督：吉田)

■GPとしてトレーニングの中から起きうる現象に対して監督とリレーションを行い、監督からもミスが発生した場面で声掛けを行なっていただき、全体で事象に対してコミットできたと強く感じました。矛と盾でバチバチの駆け引きや、シュートストップ成功率をカウントするなど、選手が次への目標設定をしやすくするためのサポートコーチとの連携もすることができたので、今後も継続し、GPを育成していきたい。(国スポGPコーチ：前田)

■今回のキャンプを通して、ストライカーとGKが互いの特徴や考えを理解し、より高いレベルでゴール前の攻防を追求することができました。今後もこのような専門性の高い取り組みを継続し、選手一人ひとりの「ゴールを奪う力」「ゴールを守る力」の向上につなげていきたいと思います。

【講義・実技の様子】

